

施設見学に関する感染管理上の注意

感染制御部

① 見学者は、直接患者への接触を避けること。小児病棟やバイオクリーンルーム(BCR)、集中治療室(ICU)など免疫抑制がある患者が入院する部署、感染症が母体に影響を与える産科病棟の見学は避けること。

② 担当する医療従事者(以下「担当者」という)は見学者のその日の体調を確認すること。(発熱、咳、嘔吐下痢、通常ではない皮疹などの有無)

感染症状がある場合は、見学を控えていただくこと。

③ 一般病棟見学については、病棟到着時と離れるときなどに手指衛生をする等、基本的な感染防止策をとること。インフルエンザなどの流行期にはマスクをして見学すること。

④ ICU 見学

原則として見学は避ける。中に入る時は実習に準じた対策が必要である。

⑤ 手術室の見学

- ・ 担当者は、患者が入室している部屋、器械が展開されている部屋には入室しないよう計画すること。
- ・ 見学は、空室の部屋を、シューズカバー、ガウン、キャップ、マスクを着用して実施すること。
- ・ どうしても手術中に入室が必要な場合は、実習に準じた対応が必要である。

(参考)

【病院施設見学の目安】

下記のいずれかに該当する場合は、実習に準じて対応が必要。

区分	定義
見学場所	免疫低下状態の患者と接触する可能性がある場所
見学時間	同一病室(廊下を含む病棟)に滞在する総見学時間:4時間以上
患者との距離	1m以内の距離で接触(マスクなし)

2015 年 12 月 7 日承認	総務課と一緒に作成
2016 年 12 月 20 日改訂	
2017 年 2 月 14 日改訂	
2018 年 7 月 27 日改訂	
2019 年 4 月 9 日改訂	ICU の見学は原則として実習に準じた対応が必要である。 手術室の見学で、患者が入室している部屋、器械が展開されている部屋にどうしても入室する場合は、実習に準じた対応が必要である。
2019 年 12 月改訂	見学を避ける場所として感染症が母体に影響を与える産科を追加
2022 年 9 月内容確認	